

都市経営の基本戦略取組状況

手 法	手法実施内容	事業名	課室名
第2章 将来を見据えた行政運営			
第3節 区民に身近な行政区の運営			
アプローチ9 行政区の機能充実			
<p>区役所機能の充実を図り、行政区の特色を生かしたまちづくりを進めます。 区民に身近という特性を生かし、行政区レベルで市民との協働を進めます。</p>	<p>・区まちづくり予算の有効活用</p>	<p>予算の有効活用ができるように、各区の対話集会における市民ニーズの把握と区まちづくり推進事業の充実を図るとともに、適正な予算執行を支援しました。</p>	<p>市民局 区政推進課</p>
		<p>区民と協働のまちづくり推進のため、区民会議が実施する事業等、区民会議の意見を予算に反映させました。</p>	<p>西区 コミュニティ課</p>
		<p>まちづくり推進事業予算の範囲内においては、予算の執行状況に応じて弾力的且つ有効的な予算執行を行いました。</p>	<p>北区 総務課</p>
		<p>交通安全施設維持管理・交通安全啓発・公衆便所維持管理・衛生害虫駆除・土木緊急修繕・下水道緊急修繕工事を行いました。</p>	<p>北区 生活課</p>
		<p>区民のコミュニティの醸成と区のまちづくり推進のために、ふれあいフェア、文化まつりなどを実施しました。また、地域ボランティアの育成、地域での防犯の取り組みを支援したほか、区報やガイドマップなどさまざまな媒体により情報提供を行いました。</p>	<p>見沼区 コミュニティ課</p>
		<p>区民会議からの提案(18年度)をもとに中央区の特徴・特性を活かした魅力あるまちづくりを目的とした「パラのまち中央区アートフェスタ」(蔵のまちコンサート、LOVE &amp; PEACEコンサート、区民コンサートの3つのコンサートシリーズ)を実施しました。区民・地域企業・団体との協働により、区民相互の交流を図るとともに地域コミュニティの活性化を促しました。</p>	<p>中央区 コミュニティ課</p>
		<p>区民が参加しやすい事業としてコンサート(ホール1回、ロビー5回)の充実を図りました。また、プラザウエスト駐車場東側の都市計画道路用地においてキバナコスモスを咲かせ、希望者には持ち帰りができるようにしました。</p>	<p>桜区 コミュニティ課</p>
		<p>区まちづくり事業予算内において、土木緊急修繕への弾力的な運用を行うほか、区民会議の意見を予算に反映させました。</p>	<p>浦和区 総務課</p>
		<p>区民との協働によるまちづくり事業の一環である南区ふるさとふれあいフェア、南区まちづくりフォーラム、南区フェスティバル、南区まちづくり大学の開催の他、地域での防犯の取り組みを支援しました。</p>	<p>南区 コミュニティ課</p>
		<p>区民と協働で、見沼たんぼに代表される自然環境や地域の歴史を伝える多くの文化財を生かしたまちづくりと、安全で安心して住めるまちの実現を目指し、防犯活動の推進や交通安全対策などに積極的に予算を反映させました。</p>	<p>緑区 総務課</p>
	<p>区民との協働による「区民やまぶきまつり」「人形のまち岩槻まちかど雛めぐり」に加え、区の特性を生かす「ひなまつりふれあいコンサート」を開催しました。また、区のオリジナリティ創出のため「オリジナリティ創出研究実行委員会」を設置し、事業の検討や観光客にやさしい案内板の研究等を行い、報告書を作成しました。更に、地域の安心・安全のため防犯対策事業の実施や小学校区の通学路を中心に街路灯等の緊急点検を実施し、交通安全施設の修繕等を行いました。</p>	<p>岩槻区 コミュニティ課  岩槻区 生活課</p>	
	<p>・区役所の権限の拡大</p>	<p>区役所が主体的に地域課題を解決するため、区役所に移譲することによりその効果が期待される権限や事務について、効率的な行政運営の確保の観点も加え、検討を行いました。</p>	<p>総務局 改革推進室</p>
		<p>本庁と区の事務の見直しについて検討するとともに、新たな窓口サービスの実践として、「窓口申請パッケージ化事業」を推進しました。</p>	<p>市民局 区政推進課</p>

都市経営の基本戦略取組状況

手 法	手法実施内容	事業名	課室名
・区民会議の充実	区民会議の活性化のため、区民会議委員の情報交換、意欲向上及び区民会議の認知度の向上を目的とした「区民会議活動報告会」を開催し、1年間の活動状況をまとめた報告書を各区区民会議の代表から市長に提出し報告を行いました。		市民局 コミュニティ課
	人と人とのつながりを大切に地域のコミュニティの醸成に取り組む「交流部会」、新駅とその周辺を念頭に置きつつ西区全体のまちづくりについて考える「新駅周辺のまちづくり部会」、区民会議だより発行などを通じて区民への情報発信を行う「広報部会」を設け、具体的な提言と効果的な事業が実現できるよう努めました。		西区 コミュニティ課
	2部会、3委員会を設置し、活発な活動を展開しました。(例 区民会議のPRや”ふるさと発見北区をあるく”、区民会議支援チャレンジ提案事業の提言)		北区 コミュニティ課
	全体会10回のほか、3つのテーマ部会及び広報委員会をのべ25回開催し、具体的な活動に向けての協議を行いました。区内で建設中の施設の現地視察、区民会議だよりの発行、鉄道博物館をテーマに「まちづくり講演会」の開催などを実施しました。		大宮区 コミュニティ課
	区民会議のPRのため区民会議だよりの発行やホームページによる情報提供なども行ないました。また、区民会議が実施するイベントへの参加機会を提供し、区民の交流を図りました。		見沼区 コミュニティ課
	広報委員会を立ち上げ、区民会議独自のホームページや区民会議だよりの内容及び構成を見直すことで、より一層のPRと充実した情報を提供しました。		中央区 コミュニティ課
	第三期目に入り、これまでの部会の編成を大きく見直すとともに、全体会の事前打合せや、視察・講演会実施の検討などを任務とする企画・広報運営委員会を新たに設置することで、区民会議の充実を図りました。		桜区 コミュニティ課
	区民会議全体会を8回、企画・運営、広報部会を計16回開催し、明確な役割分担のもと、効率的な運営を行ないました。また、区民会議からの提案により、区民のつどいについて検討する「区民のつどい検討部会」を、3回開催しました。		浦和区 コミュニティ課
	区民会議全体会(12回)のほか部会等(31回)を開催し、区民を対象とした「防災まちづくりシンポジウム」(2回)や「南区まちづくりフォーラム」を開催いたしました。また、広く活動を紹介するためホームページを随時更新するとともに、活動広報紙(2回)の発行や「南区ふるさとふれあいフェア」にPRブースを出展いたしました。		南区 コミュニティ課
	区民会議ニュースとして「みどりのかぜ」を発行し、また、「あゆみ」として1年分をまとめて区民に全戸配布するほか、区民会議の提案により「めざせルーブル美術館～子ども絵画教室」「第3回見沼たんぼキレイきれい大作戦」等を区民と協働で実施しました。		緑区 コミュニティ課
全体会(11回)と他部会(3部会計39回)開催し「安心・安全のまち」及び「魅せるまちづくり」をテーマに、市民参加型ワークショップを開催しました。また、歴史を活かした街並みの先進地を視察し、市民活動団体と意見交換を行うなど、今後のまちづくりに生かすための基礎研究活動を積極的に行いました。		岩槻区 コミュニティ課	
・コミュニティ会議の自主的な活動の支援	コミュニティ会議登録団体が実施する事業に対し、まちづくり推進事業補助金を交付しました。また、コミュニティ会議登録団体同士の情報交換、意見交換の場として、コミュニティ会議連絡会を実施しました。		西区 コミュニティ課
	年4回発行の区民会議通信「ほくほく広場」で活動状況を紹介しました。		北区 コミュニティ課
	コミュニティ会議が実施する事業に対し、事業補助を行いました。また区民ふれあいフェアでPRの機会を提供するとともに、広報紙で実施事業の告知等を行いました。		大宮区 コミュニティ課
	ふれあいフェアなどのイベントや区報でPRの機会を提供しました。		見沼区 コミュニティ課

都市経営の基本戦略取組状況

手 法	手法実施内容	事業名	課室名
	コミュニティ会議推進協議会の加入団体が企画・運営する事業に対して費用負担をするほか、会場の確保や広報紙での事業告知などの支援を行いました。		中央区 コミュニティ課
	コミュニティ会議の活動に職員が参加するなど、区民と協働によるまちづくりの推進を図りました。		桜区 コミュニティ課
	コミュニティ会議が実施する事業に対して補助金を交付するほか、広報紙への活動紹介や、活動団体同士の情報交換・ネットワーク構築に向けた交流会を実施しました。		浦和区 コミュニティ課
	コミュニティ会議の実施する事業に対し、まちづくり推進事業補助金を交付しました。また区のホームページ、広報紙での活動紹介を行いました。		南区 コミュニティ課
	コミュニティ会議の主催事業に対して補助金を交付したほか、区報に活動案内や結果報告を掲載しました。		緑区 コミュニティ課
	コミュニティ会議登録団体が区民に還元する事業に対して、まちづくり事業推進事業補助金を交付しました。また、コミュニティ会議登録団体間の意見・情報交換の場として、コミュニティ会議連絡会を開催しました。		岩槻区 コミュニティ課